



社会福祉法人 **芙蓉会**

〒417-0001 富士市今泉 2220 番地
 電話 0545-52-0402
 FAX 0545-52-3655
<http://fuyoukai.org>
 介護保険施設
<http://migiwaen.com>

児童養護施設	ひまわり園	☎ 0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ園	☎ 0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	☎ 0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	☎ 0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	☎ 0545-55-1800
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	☎ 0545-55-1800
在宅介護支援センター	みぎわ園	☎ 0545-55-1811
通所介護	ふようデイサービスセンター	☎ 0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	☎ 0545-52-5500

二公分母二



新年のごあいさつ

理事長 戸巻芙美夫

頌春

皆様お健やかに新年をお迎えのことと心よりお祝い申し上げます。

世界経済の混乱が大変な問題となっており、事態の安定を図り、昨年十一月、米国において金融サミットが開かれました。各国が国民生活への影響を食い止める為に討議しましたが、混乱は収束を見せておりません。

我が国においては、少子高齢化が急速に進行し、今日、社会福祉は大きな転機を迎えております。国民誰もが安心して生活することのできる社会を築いていくために

も福祉に携わる関係者が一体となって、その活動をより一層推進していく必要があると考えております。

平成二十年十月六日全国社会福祉協議会創立百周年記念式典が行われました。天皇后陛下御来臨のこの式典において、当法人の前身である富士育児院が特別表彰を賜りました。社会福祉事業の草創期とも言える明治・大正期以来苦難の時代を歩み、現在も福祉の推進に努力している民間法人としての功績を認めて頂いてのことでした。

天皇陛下のお言葉を紹介致します。

『今から百年前、全国社会福祉

協議会の前身である中央慈善協会が設立された明治四十一年当時は、まだ福祉制度が十分に整備されておらず、強い使命感を持った民間の篤志家や宗教に携わる人々が、孤児や棄児の保護活動を進め、次第に貧民の救済や貧困防止などの分野にまで対象を広げていった時期でありました。そうした志ある人々が、慈善事業の一層の発展を期して設立した中央慈善協会は、以来、福祉の現場実践を担う人々・結集の場となり、社会福祉制度の充実、実践の向上のための研究、提言、研修、さらに新たな立法化の運動などを進め、我が国の福祉の発展に大きな役割を果たしてきました。

福祉に対する人々の関心がまだそれほど高くなく、厳しい状況にあった時代に、恵まれない人々を支えるために、様々な活動を続けてきた先達の苦勞をしのび、ここに深く敬意を表します。

現在我が国の社会は高齢化が進

み、様々な問題が生じています。昔と異なり、少ない人数で高齢者を始め、支援を必要とする人々を支えていかなければなりません。誠に厳しい状況にありますが、一方、近年災害時に多数のボランティアが救援活動に参加するなど社会の連帯感が深まり、人々の福祉への関心も高まってきていることを感じます。

国民のこのような気持ちさがさらに高まり、社会的に機能し、人々が支え合い、協力し合って生きていく社会が築かれていくことを期待しております。』

先達に深い敬意を示してください。たこのお言葉は、我々を勇気づけるものでした。現在後継している役員、職員として後援なさっている皆様、一層芙蓉会の各事業で、その使命を一層理解し、聖書の教えにしたがい「心をつくし、力をつくし、精神をつくし、神のみわざをなすとげる」年に致したいと思えます。

おめでとうございます 表彰者の紹介

平成20年度 静岡県社会福祉大会 静岡県社会福祉協議会会長表彰

(平成20年10月21日)

社会福祉事業施設功勞者 (役員)

山下 雄司氏 昭和6年10月28日生
略歴 平成9年4月社会福祉法人芙蓉会理事に就任、
現在に至る。(11年)

社会福祉事業施設職員功勞者

種田 賢二氏 昭和37年6月8日生
略歴 昭和60年4月社会福祉法人芙蓉会、児童養護
施設ひまわり園に就職(児童指導員)。現在に至る。
(23年)

社会福祉事業施設職員功勞者

内藤真奈美氏 昭和37年12月9日生
略歴 昭和58年4月社会福祉法人芙蓉会、乳児院恩
賜記念みどり園に就職(保育士)。昭和62年7月退
職、昭和63年7月再就職。現在に至る。(24年)

社会福祉事業施設職員功勞者

内藤 好彦氏 昭和38年3月4日生
略歴 昭和61年2月社会福祉法人芙蓉会、児童養護
施設ひまわり園に就職(児童指導員)。昭和61年3
月退職、平成1年4月再就職。現在、乳児院恩賜記
念みどり園に勤務。(20年)

社会福祉事業施設職員功勞者

石村 信子氏 昭和36年1月31日生
略歴 昭和56年4月社会福祉法人芙蓉会、乳児院恩
賜記念みどり園に就職(保育士)。昭和60年3月退
職、平成7年10月再就職、現在に至る。(16年)

第36回 富士市社会福祉大会 富士市社会福祉協議会会長表彰

(平成20年10月7日)

社会福祉事業施設功勞者 (役員)

芳賀 正治氏 昭和18年7月6日生
略歴 平成11年4月社会福祉法人芙蓉会理事に就任、
現在に至る。(9年)

全国社会福祉協議会 創立100周年記念

特別表彰受賞

平成20年10月6日(月)全国社会福祉協議会創
立100周年記念式典において、本会の前身である中
央慈善協会の設立(1908(明治41)年)より数え
て100周年にあたり、社会福祉事業の草創期とも
言える明治・大正期以来、苦難の時代を共に歩ん
で来た民間法人として特別表彰を賜りました。

当法人は、社会福祉の担い手として一層の努力を
する所存でございます。

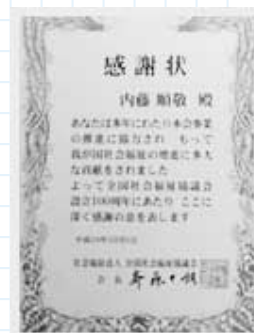


感謝状受賞

内藤 順敬氏

長年にわたり、全国社会
福祉協議会の発展並びに事
業運営に貢献した方として、
感謝状を受けました。

(在任時の所属組織：
全国乳児福祉協議会会長)





福祉まつり

「オペレッタ」

十月十九日、富士市中央公園にて、第二十八回市民福祉祭りが開催されました。ひまわり園では、毎年ステージ部門においてオペレッタを披露しています。

今年も三歳から六歳までの幼児さん二十一名が『なかよし忍者』のオペレッタに挑戦し、かわいい姿を披露してくれました。

八月半ばから練習を開始したオペレッタ。幼稚園から帰ってきてすぐ練習をしました。子どもの中には、帰ってきた



練習している子もいました。

本番前日まで「この調子で大丈夫?」と心配していたのですが、本番では練習で一度も踊ることが出来なかつた子も皆と一緒に踊ることができ、今までで一番の踊りをする事が出来ました。



時点ですでに疲れてしまっていて、ヘトヘトになりながら

気温が上がる中、ビニールの衣装を身に着け、とても暑かったはずなのですが、皆良い笑顔を見せてくれ、見ている方は笑顔と元気をもらいました。そして子ども達の頑張り職員一同感動させられました。

した。

二カ月間という長い練習の成果が十分に発揮され、子ども達も、共に練習してきた職員も、達成感・満足感を味わうことができました。

改めて子ども達の頑張り拍手を送りたいと思います。



★クリスマス★



今年も残りあとわずかとなりました。十二月に入り、子ども達はすっかりクリスマスモードです。

アドベント礼拝が始まり、イエス・キリストの降誕を待つ期間なのですが、子ども達が本当に待っているのはやっぱりサンタクロースのようです。

ツリーを作ったり、折り紙等でお部屋の中をかわいく飾り付けしたりと、二十五日のクリスマスの日を今か今かと楽しみにしている子ども達です。



ミッキーグループ
水族館


カメいたよ



イルカのショーみたよ

園外保育
アンパンマングループは日本平動物園。ミッキーグループは三津シーパラダイスに職員と一緒に掛けました。

みどり
えん



アンパンマングループ
動物園



ゾウ、大きいね



集合写真



乗り物たくさんあったよ



お魚いっぱい



大きな病気・怪我也せず無事七五三を迎えました。各ユニットごとに七五三のお祝いをしました。神社に参拝したり、食事に行き、一日楽しい思い出を作りました。
「いい笑顔しているでしょ」



シカの看板でハイチーズ!!



ふよう

デイサービスセンター

10月から12月にかけてのふようデイサービスの主な行事

10月

福祉展見学

11月

「富士川楽座」ハイキングツアー

12月

クリスマス会

※注

毎月の恒例行事としてカレンダー作り、お菓子作り、手芸、ゲームなどのイベントを盛りだくさんで行っています。

祝 百 歳

さて今回は現在ふようデイサービスセンターを御利用で十一月一日に百歳の御誕生日をお迎えになった金澤ふさ様の御誕生日会の模様を御紹介させていただきます。



感謝状授与

ふようデイサービスにてつておめでたい一日となりました。



これからも素敵な笑顔を見せて下さいね！

『富士川楽座』ハイキングツアー



紅葉が色づき始めた十一月の中旬、ハイキングを目的として『富士川楽座』へ出掛けました。

いい眺めだな～！



ちょっとティータイム

御利用者様

これからお誕生日を迎える

1月

2月

3月

4月

5月

- | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 佐藤 富子様 | 塚田 弘様 | 廣瀬しず子様 | 佐野 義男様 | 高柳 良一様 | 鈴木つや子様 | 森 たか子様 |
| 小林みつ子様 | 磯野 虎子様 | 鈴木 利夫様 | 渡辺 典二様 | 松本 正也様 | 渡辺千重子様 | 伊藤 勝子様 |
| 金子 茂様 | 小林 光義様 | 古郡 久子様 | 影島わか子様 | 佐野トミ子様 | 佐野 貞子様 | 平井 爾生様 |
| 奥野とみ子様 | | 清水くみ子様 | 大石 照子様 | 石川 善子様 | 松橋富美子様 | 牧田喜美枝様 |
| | | 辻村さか江様 | 畑 しげ彗様 | 飯島智江子様 | | 岡田 稔様 |
| | | 塚原 静江様 | | | | 梨本かほる様 |

お誕生日 おめでとう ございます。

1F 南

いせ・みかわ

今年も、あと少しで終わろうとしています。朝晩も体の芯まで冷えるような寒い日が続き、利用者様の健康に十分な配慮が必要とされる時期になってきました。さらに乾燥してきたため、夜間咳込まれる方や、肌がカサカサしてしまわれる方もいらっしゃると思います。水分補給はしっかりと行っているのですが、どうしても暖房を使っていると空気が乾いてきてしまいます。そこで普段からの声掛けをよりしっかりと行って、いつもと様子が違うかなと思うことがあればすぐ分かるぐらいに利用者様に目を向けております。

寒くなってはきましたが、大変な事ばかりではありません。天気の良い夜勤明けに、利用者様と散歩をしていると空気が澄んでいるため、富士

山がとても美しく見えます。利用者様がとても喜ばれるのはもちろんのこと、雄大な姿を見ていると、疲れがスーッと取れるような気がします。「また一日頑張れよ！」と励ましてくれているようでもありません。私も富士山のように誰かの事を楽しい気持ち、幸せな気持ちにしてあげられるように心掛けて、これからも仕事に励んでいきたいと思えます。年が明けて更に雪化粧で美しくなった富士山の姿を見る事を楽しみにしています。



1F 北

33 するが・さがみ

新年を迎えるにあたり、今年の抱負を述べたいと思います。

今まで幾度となくお話ししましたが、私共のユニットの特徴は底抜けな「明るさ」です。二〇〇八年も利用者様の笑顔に助けられ、また一緒に笑って過ごすごうことができました。利用者様から度々、「今日はおやつの前に唄おうよ」と要望があり、皆で合唱したり、昔話に花が咲き、笑って昔を懐かしんだり、もちろん恒例の外食も何回か行きました。利用者様にとっても、職員にとっても楽しく過ごせた一年であった気がします。

今年も「明るさ」は決して失うことなく過ごせたらと思います。

ただ今年は、「明るさ」だけではなく、もっと利用者様の個別ケアに力を注いでいきたい。

まずは利用者様一人一人の二四時間シートを作成して、利用者様全員が同じ生活の流れにのるのではなく、個人個人のペースに沿った介助を心掛けたいです。また、各利用者様の趣味、嗜好を今以上に把握して、利用者様の楽しみをもっと広げられたら嬉しいですね。食事も食べたい時に食べ、お風呂も入りたい時に入り、寝たかったら寝るといった当たり前の事が、「ここが私の家なんだ」という気持ちになつていくのではないのでしょうか？

利用者様にとっても、またその御家族様にとっても素敵な一年になることをお祈り致します。

2F

くすのき・もくせい

今年もあとわずかになり、何かと慌ただしくなってきました。

一年を振り返ってみると、新しい出会いがあり、反面辛い別れもありましたが、利用者様と職員とで和気あいあいの日々を過ごせたように思います。

利用者様がゆったりとした時間を過ごしながら季節の移り変わりを感じていただけるような雰囲気作りを心がけて



季節ごとに壁飾りを作ったり、福祉展に出品する作品を一緒に作ったりもしました。

最近では、クリスマスに向けての飾りつけでユニット内はとても華やかです。

クリスマスが過ぎるといよいよ新しい年がやってきます。

くすのき・もくせいユニットのカラーが出せるよう、利用者様の日々の暮らしが充実したものになるように職員一同で努力をし、笑顔が溢れるユニット作りを目指していきたいと思えます。



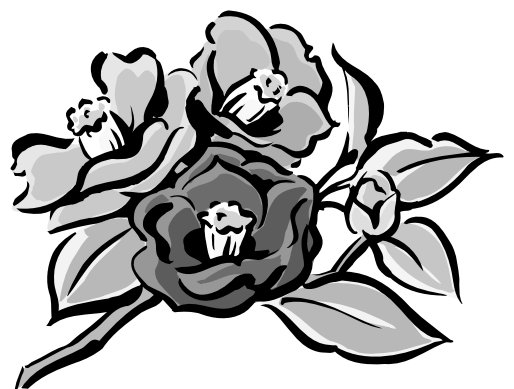
3F

あしたか・あまぎ

私たちユニットは、利用者様個人個人にあった介護の実践と人が人をしる行為である抑制の廃止を目標に日々介護にあたっています。職員をあしたか、あまぎに分け、各々担当の利用者様を決め、その方の特徴をよく把握し、ユニット会議で利用者様にあった介護方法を話し合っております。

ユニットケアを始めたことにより職員にも担当意識が芽生え、会議においても積極的な発言が増え、職員一人一人の介護への姿勢が向上してきていると感じております。

私たちユニットでは身体機能の回復と共に立位がとれ、自尿がある方には積極的にオムツからトイレでの排泄に切り替えを行うようにしています。



す。時には失敗してしまうこともありますが、現在では三名の方がオムツがとれ、トイレでの排泄が可能となりました。

新たな課題が持ち上がれば、ユニット全体の問題として共有し、よりよい解決策を見出すよう密に話し合いを重ね、あくまでも利用者様中心であることを肝に銘じ、職員一同回結してより良い介護にあたりたいと思っております。

ショートステイ

みぎわ園

一年が過ぎるのは早いもので今年も残りあとわずかとなりました。振り返ってみると元旦の「書き初め」に始まり鬼に扮した男性職員に向かって豆を当て退治した「節分」富士浅間神社でたい焼きを頬張った「お花見」夏の陽射しの中ペラペラで射的に夢中となった「夏祭り」地域交流室でゆめ一座の踊りを鑑賞した「敬老会」子供達の演劇と職員のダンスに感激した「クリスマス会」などの行事に加えて利用者様の楽しみの一つである「ぬり絵」でフロアを色鮮やかに飾って頂いたりと充実した一年を過ごす事が出来たと感じています。

そして今年



も多くの出会いと別れがありました。この国に生を受け人生を歩んで来た上において介護を受ける側と介護を提供する側と立場こそ違いますが、このみぎわ園で出会う事は縁があつてのことだと思えます。縁が無ければ出会う事はもちろんのこと、会話を交したり、顔を合わせる事もあり得ません。別れに関しても人生の終焉に立ち会えた事は悲しいですが縁があつてのことだと考えています。

来年も、この縁を大切に別れは辛いですが、それ以上に多くの楽しい出会いをしたいと思います。それでは良い年をー！



人気の新車登場

みぎわ園

今年、念願の新しい送迎車両が介護保険施設に配備されました。

この車両のボディには皆様見覚えがあるかも知れませんが緑色のかわいらしいイラストが描かれております。

ふようデイサービスセンターの送迎車両にも描かれています。

このイラストは財団法人日本船舶振興会（日本財団）のシンボルマークです。

日本財団は、競艇等の収益金を広く福祉事業に援助して下



さっており、芙蓉会も、ふようデイサービスセンターと今回の車両で二台目となります。

デイサービスやショートステイの送迎、特養の受診や利用者様の外出支援など車両は何台あつても足りません。

また今回の車両の様に車椅子用の昇降機をついた車両はとても高額です。

多額の補助をいただき導入できた車両ですので、永く利用者様のお役に立てるよう大切に使用してまいります。

誌面を借りて日本財団様にはあらためて御礼申し上げます。

シリーズ

みどり園編

みどり園編

平成十九年二月、社会的養護体制を取り巻く現状と課題に対応するため、「今後目指すべき児童の社会的養護体制に関する検討会」が厚生労働省の提案で設置され、計九回の審議を経て

中間のとりまとめが行われ、同六月に交付された「児童虐待の防止等に関する法律及び児童福祉法の一部を改正する法律」の付則において、社会的養護体制の拡充について検討を進められることとされた。

これを受けて、平成十九年八月、厚生労働省内の社会保障審議会児童部社会的養護専門委員会が設置され、九月七日に第一回の委員会を開催、計五回の委員会を経て、十一月二十二日取

りまとめられ、「子どもと家族を応援する日本」重点戦略検討会議取りまとめ(平成十九年十二月)において先行して実施すべき課題の一つとして、社会的養護体制の充実が盛り込まれ、平成二十年三月四日「児童福祉法等の一部を改正する法律案」を閣議決定し、第一六九回国会に提出された。

社会的養護体制の拡充に向けた具体的な施策の取りまとめの中で、児童福祉施設における慢性的な人手不足についても触れられ、児童福祉施設の最低基準の見直しについても検討段階のようであるが、同時に児童福祉施設に勤務する職員の質の確保についても言及されている。つまり、「量的な確保と質の確保は車の両輪」ということ

である。

乳児院では入所児童への身体的な虐待や、性的な虐待についてはほぼ起こらないものであると信じているが、心理的な虐待や、ネグレクトについては、職員の「忙しくて、手が回らない」「手が足りないから仕方ない」という意識下では起こりうる問題ではないかと考える。大人の都合で、子ども達に我慢を強い、「要求をしない」「大人に都合がよい子」を育ててはいないだろうか？

全国乳児福祉協議会では平成二十年五月九日の総会で、乳児院の倫理綱領を定めた。また、その倫理綱領に基づいた、より適切な関わり(養育)のためのチェックポイントを乳児院の職員が日々意識して業務に当たっ

て欲しいと願い、現在作製中である。

生後三日で入所してくる乳児がいる現状で、「子どもたちの泣き(要求)にはすべしに答える」「泣きを放置するな」「オンプや抱っこは養育の基本」等、職員に対して要求し続けている。「奉仕の心」や「献身」という福祉の基本精神の基に、職員も意識して子どもたちこのよりよい愛着形成を目指して日々努力してくれていると信じているが、子ども達のアセスメントを正確に行い、より子ども立場に立った養育を目指す程、仕事が増えていくのも事実であるが、職員の専門職としての成長と、業務における創意工夫で克服してくれると期待をしている。

専門性の強化と、より利用者の側に立った接遇に期待する。

いただきます



保存や調理法でこんなに変わる 野菜の栄養成分

野菜の成分は保存中にも減少しています。

野菜の種類や貯蔵法によって異なりますが、特にビタミンCは他のビタミンより不安定で、保存条件による影響も大きくなります。常温よりも冷蔵保存のほうが損失は少なく、その場合も湿度が高い野菜室を利用すると、よりビタミンCの減少が抑えられます。

また、水溶性のビタミンCはゆで時間や水にさらす時間によって、相当な違いがあります。

栄養成分の目減り

野菜からのビタミンなど栄養素摂取量は、同じ野菜でも部位、保存法、調理法によって大きく変わってきます。

1 保存法を変えればビタミンCは長くもつ!

種類	購入時の含有量 mg%	貯蔵条件	貯蔵後 mg%	残存率 %
もちがしいピーマン	60	30℃の室温で3日後	55	92
		10℃の冷蔵庫で3日後	55	92
		0℃の冷蔵庫で3日後	60	100
ほうれん草	80	25℃の室温で翌日	64	80
		0℃の冷蔵庫で翌日	77	96
トマト	22	30℃の室温で3日後	18	82
		5℃の冷蔵庫で3日後	21	95
さやいんげん	21	30℃の室温で翌日	17	81
		7℃の冷蔵庫で翌日	20	95
じゃがいも	32	室温で5か月後	23	72
		5℃で5か月後	26	81
足が早いもやし	13	水づけしたものの翌日	9	69
		水づけしたものの2日後	6	46
		ポリ袋に入れ0℃の冷蔵庫で翌日	12	92

2 調理法で増やしたり減らしたりできる

じゃがいもは丸ごと40分蒸しても大丈夫

ゆでる前を100%とすると、ビタミン残存率は
ビタミンB1: 96% ビタミンB6: 96% ビタミンC: 74%

ほうれん草はゆですぎると損!

生(0分)を100%とすると、ビタミンC残存率は
1分: 74% 3分: 48% 5分: 40%

きゅうりは24時間ぬかづけすると……

つける前を100%とすると、ビタミンの変化は
ビタミンC: 44.3% ビタミンB1: 1162.0%



3 捨てるところにはビタミンたっぷり!

葉276%
茎85%
チンゲン菜
全体平均ビタミンC29mg(100g中)

緑葉362%
皮129%
外周95%
内部100%
にんじん
全体平均ビタミンC169mg、葉46mg

皮180%
内部99%
ごぼう
全体平均ビタミンC4mg

外周115%
内部95%
皮78%
さつまいも
全体平均ビタミンC30mg

目 安 箱

毎年 1 月号でみなさんからの要望や意見をひろく紹介し、それに対する解決方法をご紹介します。

み どり 園

・ひまわり園より、みどり園の職員が児童の措置変更の情報をひまわり園の児童に伝えているようなので、憤んで欲しいという苦情がありました。

※非公開の移行情報についてひまわり園の児童が知っており、みどり園の職員から聞いたと話していたようです。

対応 職員会議時(4/30)に全職員に注意を行い、状況の確認を行った結果、芝生に子どもを連れて遊びに来ていたひまわり園の職員と移行児童についての話をしたところ、一緒に来ていた児童に聴かれてしまったのではないかという状況確認ができましたので、同一法人内でも非公式に入所児童の情報交換を行わないように改めて注意し、職員への徹底をはかりました。(ひまわり園には5月上旬に報告しました)

ひ ま わ り 園

・近隣にお住まいの方々から、登下校中の子どもたちによるいたずらが目に余るという苦情をいただく。

対応 いたずらをした子どもと一緒に、苦情をいただいた方のお宅に伺い、謝罪をしました。また、当事者の子どもだけではなく、小学生全体で話し合いをして、再発防止に向けてルール作りを行いました。

・同法人内の施設より、ひまわり園職員の言葉遣いが悪いという指摘を受けました。

対応 該当職員に口頭指導しました。また、直接処遇職員全員が、月に一度、接遇マナーのチェックを行い言葉遣いについても改善に努めています。

・乳児院より、移行直後の子どもを園内幼稚園に日中保育に出したことについて、まずは担当職員との時間を十分にとることで、愛着関係を深めるべきではないかとの指摘を受けました。

対応 これまでは、子どもの安定度を見て、個々に園内幼稚園へと登園を開始しておりました。今回のご指摘を受け、子どもの安定度に関わりなく、一定期間は担当職員のみと過ごす時間を設けるよう、マニュアルを制定しました。

み ぎ わ 園

今回は、ありませんでした。

ひろみ日記

おかげさまで、ひろみはこの十一月四日で八年目を迎えました。ひろみを始めた時、小学校五年生だった女の子は来年三月で高校を卒業します。小学校一年生だった男の子も来年は中学三年生になります。それぞれの子どもたちは、心も体も成長しました。それに比べて、私はこの七年間でどれだけ成長できたでしょうか。ひろみでも、日々色々なことが起こります。正直言って腹の立つこと、悔しいこと、悲しいこと、淋しいことなどもあります。

でも、それは彼や彼女たちの中にある思いそのものでもありません。彼は私の思いを受け止めてくれる人がほしいのです。

だからその思いを私たちにぶつけてきます。でもそれは私たちがぶつけたいことではない相手と認められていくからなのです。



おかげで、私はその思いを自分のもので少しは感じる事ができるようになりました。彼や彼女たちが、私を人の苦しみや悲しみを少しは受容できる人に成長させてくれたのです。

「お兄ちゃん偉くなったね」融通のきかない私が少し子どもの気持ちに添えたとき、小学校低学年の男の子が私に言ってくれた言葉です。

子どもがいたから、私も少しばかり成長できた。

ありがとうございます。

ひろみ

- ・パソコンを購入したい（高校3年生）
就職準備のため、費用は自分のアルバイト代から払うのでパソコンを購入したい。
対応 ひろみでは、自立資金を貯めるためのアルバイトのみを許可しており、アルバイト代の自立時以外の使用は許可していません。しかし、今回は就職に関連しており、自立に役立つと判断しましたので購入を許可することにしました。
- ・私立高校に通うことがいけないことのように思う。（高校2年生）
職員から高校に費用がたくさんかかって大変と言われ、自分が高校に通うことがいけないことのように思った。
対応 本人が職員の言葉をそのように受け取ったことを受け止めた上で、改めて職員の意図を説明しました。教育費だけでなく食費、光熱水費など諸物価が値上がりし、経済的に大変であり節約を心がけてほしい。自立後の経済観念を身につけてもらうために、生活には色々な費用がかかりやりくりが大切なことを知ってほしい。高校へ通うことは施設で許可したことで、負い目に感じることはありません。

ふようデイサービス

今回は、ありませんでした。

つぽやち

二〇〇八年八月号の『ナショナルジオグラフィック』誌に、次の写真が掲載されました。



付随の記事によると、写真に写っている人骨は、古生物学者のポール・セシノの研究チームが、サハラ砂漠で恐竜の化石を発掘している最中に偶然見つけた墓地にあったものの一つだとのことでした。

写真の右側は女性で、左側の二人はその女性の子ともです。三人の骨格の下から花粉の残存物が多量に見つかったことから、三人は花を敷き詰めた上に埋葬されたと考えられています。

母親と子どもたちは、足を重ね合わせるようにして向かい合って寝ています。大きな子は小さな子の首に手をまわして抱いています。三人はお互いの手を握り合っています。研究チームは

この遺体を「石器時代の抱擁」と呼んでいるのだそうです。

三人が亡くなったのは、今から五三三百年以上も前だと見られています。この三人がどのような出来事に見舞われて、同時に埋葬されたことになったのか分かりません。しかし、当時の人々が生前の三人の関係を思いはかり、花の中に大切に埋葬したことは間違いないでしょう。

写真を見てみると、五千三百年以上の時間が包み込んできた、親子の思い、死者への思いが伝わってくるような気がしてきます。

人はたかだか数十年でこの世を去りますが、人の思いは連綿と続きます。人の歴史をひもとけば、貧困や戦争、災害や疫病など多くの不幸があったことがわかります。しかし、そんな不幸の最中にあっても、家族への思いや死んでいった人たちへの思いなどが途切れることなく人々の胸にあつたからこそ、我々は滅びることなく生き続けてこられたのではないのでしょうか。

近年、不可解な凶悪事件が続き、人の心が壊れてきたのではないかと漠然とした不安が広がっています。五三三百年前の親子は、凶らずも、我々に人の本質を信じる勇気を与えてくれるように思います。

芙蓉会

後援会だより

後援会会員芳名 敬称略・順不同

- 青山百合子 内藤恵美子
- 伊藤 芳亮 芳賀正治
- 内田牛乳店 芳賀道子
- 狩野ヒサエ 古郡久子
- 佐藤健治 増田正之
- 佐野静子 松木正雄
- 齊藤青無 水野宏一
- 清水康子 望月誠二
- 神保泰久 望月保夫
- (有)鈴吉商店 瑠美子
- 芹澤すみ子 ヤマグチ電機株
- 竹中康弘 山本優子
- 月岡米子 吉原教会
- 戸塚保次 渡辺一
- 戸巻紀美子

ありがとう

芦澤志津代、石川和男、今泉地区福祉推進委員会、落合理、小川忍、岡村龍弥、金澤ふさ、神尾みつ子、小林栄子、佐野英雄、島津千恵子、諏訪部和美、田畑智美、仲神洋子、日本語英語その他表現クラブ、山本けい子、渡邊理佳

これからの行事

- 1月 新年会 (ふ) (みぎ)
- 新年挨拶会 (ひ) (み)
- 初詣 (ふ)

- 2月 節分 (各施設)

- 3月 雛祭り (各施設)
- 個別保育 (み)
- 卒業旅立ちを祝う会 (ひ)

- 4月 お花見 (各施設)
- 入学式 (ひ)

- 5月 端午の節句 (各施設)
- 絵画展表彰式 (ひ)

- 6月 106回創立記念日
- 個別保育 (み)

※お泊まり保育 (み) 時期を考慮して実施

編集後記

冬の到来とともに風邪のウイルスたちが猛威をふるい始めます。からは寒くてカラッと乾燥した冬が大好きです。一方私たちは、体温キープのために体力を消耗するので、体には負担がかかります。そのうえ、体が冷えると鼻やのどの粘膜分泌が抑えられウイルスが入りやすくなります。寒いこの時期、まずは十分な栄養とバランスのよい食事を心がけ、室内の温度・湿度にも気をつけてください。また、手洗い、うがいの効果は大きいようなので、ぜひ習慣にしたいですね。